

フジテコム株式会社 様

DocuWorksお客様活用例

技術文書の出図・押印の電子化による業務効率化

長寿命製品を支える設計・開発現場で紙管理の限界に直面
DocuWorksのスタンプ・お仕事バーで業務を刷新
技術文書のペーパーレス化により作業負担を大幅低減

フジテコム株式会社

所在地	本社：東京都千代田区神田佐久間町2丁目20番 技術開発センター/トレーニングセンター：埼玉県新座市野火止8-6-16
代表取締役社長	森山 慎一
事業内容	各種探知機器、測定機器の開発・販売 <ul style="list-style-type: none">・監視システム（監視システム機器）・管路機能診断（流量測定機器、水圧測定機器、漏水調査機器）・管路管理（管路施設情報化機器、管路調査機器、埋設物探査機器）・工事機器（埋設/工事用）・ガス検知器・水質測定（水質測定機器）・コンサルティング業務
URL	https://www.fujitecom.co.jp/

今回お話を伺った方



主力製品のひとつである漏水調査機器を装備したマネキンと

（写真向かって右側から）

- ・執行役員 技術開発トレーニングセンター長
鈴木 賢一 様
- ・技術開発グループ プロジェクトリーダー
小島 崇司 様
- ・技術開発グループ プロジェクトリーダー
関口 靖人 様



DocuWorksをご導入いただいた経緯

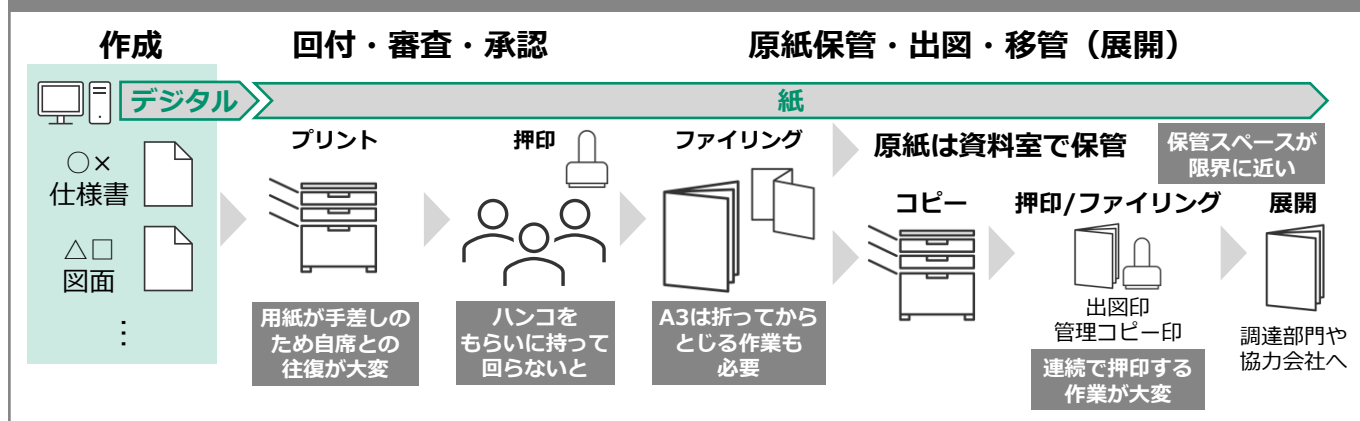
ご検討のきっかけ、導入前のお困りごとを教えてください

当社は長期にわたり使い続けられる長寿命製品を提供しています。そのため、長年にわたり蓄積されてきた設計図面や技術資料が大量に紙文書として保管されており、過去のトラブル対応や設計ポイントの共有・検索に欠かせない資産となっています。

しかし、資料室の書庫が満杯に近づき、保管スペースの不足という差し迫った問題に直面しました。加えて、紙ベースの原紙管理や作業の煩雑さから、「なぜ電子データで作成したものをわざわざ紙に出して管理しているのか」という違和感も強く感じていました。

こうした旧態依然とした管理方法から脱却し、まずはペーパーレス環境を構築することで業務効率化を図りたいと考え、導入検討を始めました。

【紙ベース】技術文書の管理・展開



【導入前のお困りごと】

- 原紙は製品ごとに厚手のパイプ式ファイルにファイリングして保管しており、**資料室のスペースが限界**に近づいていた。
- 紙ベースでの管理・運用に伴い、**手間のかかる作業が多数発生**していた。

<作業例>

- ✓ 図面出力時にトレーシングペーパーを手差しするため、複合機と自席を何度も往復
- ✓ ファイリングのため、多数の文書折り曲げ作業、ファイルへの出し入れやファイルの持ち運び
- ✓ 大量の文書に対する連続した押印作業（承認印・出図印など）

DocuWorksをご採用いただいた理由とポイントを教えてください

かねてより社内インフラ関連で取引のあった富士フイルムビジネスイノベーションジャパンの営業担当者と相談する中で、DocuWorksとその体験版の存在を知りました。実際に体験版を試用したところ、当社にとって有用な機能を発見できました。

【体験版でわかったDocuWorksのGoodポイント】

- スタンプの作成や押印ができること
- OfficeやCADなどのデータを簡単にDocuWorks文書に変換できること
- PDFとの親和性が高いこと
- トレイ機能を通じて文書の受け渡しが容易にできること

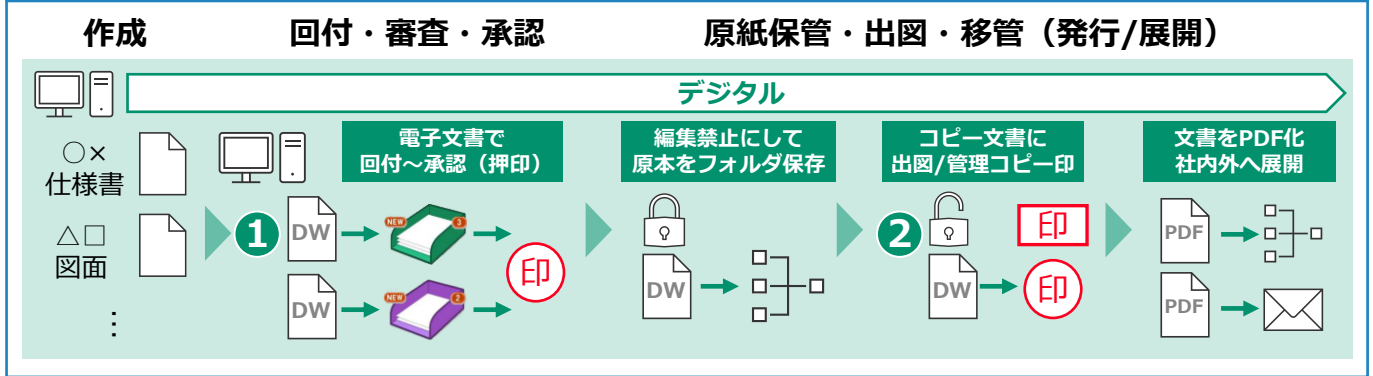
また、当社は長期保存が求められる文書を扱うため、導入後すぐに使えなくなるような製品は避けたいと考えていました。DocuWorksは国内で多数の実績があり、DocuWorks倶楽部に掲載された事例からも安心して採用できると判断し、不安が払拭されたことも決め手の一つとなりました。

ご導入後の活用方法

DocuWorks導入後の業務フローと活用方法について教えてください

これまで紙に出力して管理していた原紙をDocuWorks文書に置き換え、ペーパーレス環境での管理に移行しました。これにより、他部門への図面・資料の発行や展開の際に、原紙をコピーして押印する作業も不要となり、業務効率が大幅に向上しました。

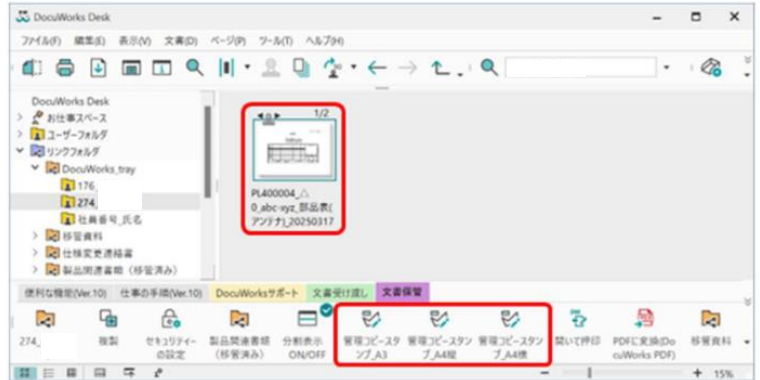
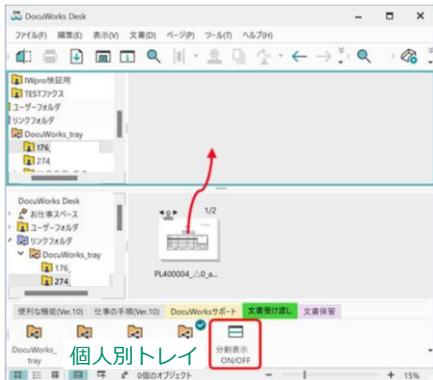
【ペーパーレス】技術文書の管理・展開



■お仕事バー※で操作を円滑に

1 『文書受け渡し』タブ
相手のDocuWorks トレイを表示して受け渡し

2 『文書保管』タブ
「スタンプ押印→PDFへ変換→フォルダ格納」と左からボタンをクリック



※お仕事バーとは

いつも行う作業を標準化/定型化して業務ごとのタブにボタンを配置することができ、効率的に業務が行えます。

■活用しているスタンプの例



業務の進め方の変化について、移行はスムーズに進みましたか？

移行は問題なくスムーズに進みました。事前に業務フローの変更点を社内で明確化し、共有していたことに加え、「DocuWorks運用サポートサービス※」を活用できたことが、スムーズな導入の大きな要因だと考えています。特に、DocuWorks文書上での押印機能については、打ち合わせを通じてカスタムスタンプを作成してもらったことで、スムーズかつ簡単に実装できました。

※DocuWorks運用サポートサービスとは

お客様の業務に合わせて、運用方法のご相談から環境構築のご支援、そして実際に業務の中でご利用いただけるよう、操作指導までをサポートする有償のサービスです。



改善効果や変化について

ご導入後の効果や、従業員の皆さまなどの反応について教えてください

懸案であった書庫スペースの問題は、新規発行に伴うファイルの増加を抑制でき、改善が見られました。また、原紙のプリントやコピー作業がなくなったことで、特に図面をトレーシングペーパーに出力していたメンバーの作業負担が大幅に軽減しています。

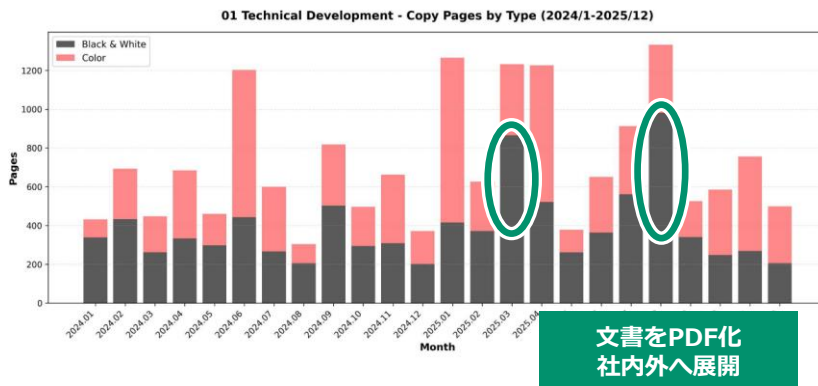
最大の効果が期待される新規開発の繁忙期はこれからですが、プリントおよびコピー枚数の大幅な削減が見込まれています（※下図参照）。

さらに、新規開発だけでなく、仕様変更の際にも類似の業務フローがあり、そちらでの効果はすでに確認できています。

加えて、取引先への資料共有が郵送から電子メールに切り替わり、迅速かつ効率的に行えるようになりました。

また、原紙コピーやスキャンデータで発生しがちだった濃度の薄さによる読みづらさも、電子データの活用により改善され、問い合わせとそれに伴う再発行作業の減少にもつながっています。

お客様資料より：紙の出力枚数推移



○印が、新規開発業務に伴って原図出力や管理コピーで紙出力が急増する部分に相当。今後削減される見込み

お客様からのコメント

従来からの課題だった、保管スペースの減少と、各人が不便に感じていた作業の簡素化を一気に解決する方向へ舵を切れたという手ごたえを感じています。一方で、既存の紙資料のスキャンによる電子化や、それに伴う検索性の改善、また、開発資料以外へのペーパーレス化の展開など、今後さらなる拡張と運用改善を続けていく必要があると考えているため、その意味では現在はまだ道半ばでもであると認識しています。

編集後記

このご提案を進める段階から印象的だったのは、ご面談の度にお客様がDocuWorksへの理解を着実に深めてくださっていたことです。お忙しい中、これほど積極的にDocuWorksについて学ばれる原動力がどこから生まれているのか、常々気になっておりました。

今回のインタビューを通して、紙ベースの業務におけるご苦労の背景や、特に忙しい時期に強く感じていらした大変さや違和感が、ペーパーレス化へ踏み出す原点であったことを改めて理解できました。

電子で作成した資料を一度印刷し、回付・捺印の後、再度スキャンする——この電子と紙の行き来に対する疑問を放置せず、一歩踏み出されたことがペーパーレス化・DX化のスタートとなったことは、私たちにとっても大きな学びとなりました。

今回の開発書類のペーパーレス化にとどまらず、すでに次なる取り組みも視野に入れていらっしゃるというお話も伺っています。今後も継続して情報提供を行い、さらなる業務改善に向けてお手伝いできるような尽力してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

